

## 環境調査結果のお知らせ

令和7年7月27日6時から浦ノ内湾の環境調査を実施しました。

### 概況

検鏡の結果、魚類に対して有害なシャットネラ属が最高で4 cells/mL、タカヤマ属が61 cells/mL確認されました。シャットネラ属は今後増殖する可能性がありますので、十分注意してください。

海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

調査点 (透明度)	深度 (m)	プランクトン		
		シャットネラ 属	タカヤマ 属	珪藻
A 中学校前 (4m)	0	0	0	2,700
	2	0	0	440
	5	4	0	240
	10	0	61	300
	B-1	0	0	60
B 光松 (3.4m)	0	0	0	1,500
	2	0	0	960
	5	0	0	280
	10	0	0	160
	B-1	0	0	20
C 大鹿 (3.8m)	0	0	0	1,800
	2	0	0	900
	5	0	0	950
	10	0	0	180
	B-1	0	0	80

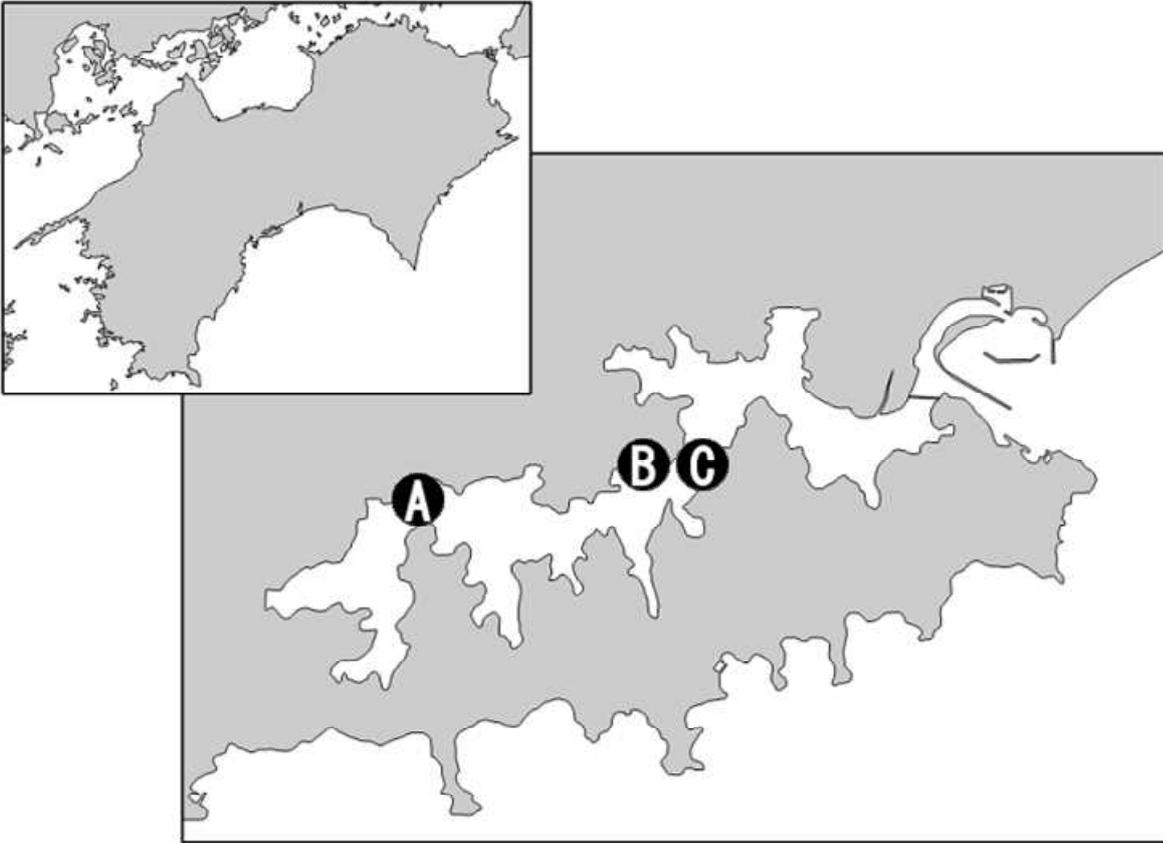
参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準 (※1)	警戒基準 (※2)	主な赤潮発生時期 ※3
				浦ノ内湾
シャットネラ属	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	6～8月
タカヤマ属	魚類等のへい死	—	10,000 cells/mL	8～9月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死 並びに 二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。



A: 中学校前

B: 光松

C: 大鹿